

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年7月14日（木）現在

【 果 樹 】

< モ モ >

山梨産は小玉傾向にあり、数量がまとまらない状況で、大玉には不足感がある状況

日川白鳳終盤となり、暁星が次週より増量となる。

@特秀 18玉 3,500円～ @秀（青秀）3,300円～

@4P パック L 特秀 420円 @M 特秀 400円

【 野 菜 】

< きゅうり >

きゅうりへの引き合いは強く、東北産が増量となったが不足感は強く相場はジリ上げとなった。ここ数日間は曇雨天予報ではあるが、東北各産地で増量傾向であり、海の日明けは露地作の本格出荷となることから相場は弱含みで売り込みを強める販売となる見通し。

@A 2,000～1,700円

< ミニトマト >

東北各県産で出荷急増により、全体量が多いことから相場を下げ荷動きを促す展開となる見通し。

@AM 160～140円

JAふくしま未来
営農部園芸課